

# 三豊市第2次総合計画 後期基本計画素案について

開催：令和5年10月19日（木）

# 1. 前期基本計画期間（5年間）のまとめ

## 【新たな社会情勢・市の現状】

### （社会情勢の変動）

#### ■ 経済活動や日常生活におけるSDGs、脱炭素社会等の推進

持続可能な環境・社会づくりに向けての取組が加速化

#### ■ コロナ禍による人と人との交流や経済の停滞

- ・デジタル技術・産業の飛躍的な進歩
- ・ライフスタイルや価値観の大きな変容



アフターコロナ  
 …人・モノの動きが流動化、  
 一層価値観の多様化が進む

### （市の現状）…少子高齢化の進行

資料：総務省統計局HP「平成17年、22年、27年、令和2年国勢調査」、香川県統計調査課HP「人口移動調査」（各年10月1日現在）



## 【前期基本計画に関する振り返り】

（前期基本計画の重点取組に係る評価結果：計34）…全体評価：69.7点、重点取組み評価：62.5点

評価	数	該当する重点取組み
A	3	都市計画区域の再編、活躍する市民への応援、公共施設の再配置と利活用及び適正管理
B	17	農産物の高付加価値化の促進、観光地としての魅力創造、地域クラブチームの育成と支援、自主防災組織の結成促進と支援 等
C	8	AI研究・人材育成拠点の整備、工業用水道の整備、重症化対策の充実、高瀬庁舎及び詫間町舎周辺の市街地エリアの開発 等
D	6	先端技術の導入促進、漁業活動への支援、詫間地区造船跡地におけるにぎわい創出、学校給食の充実 等



## 2. 後期基本計画の素案の概要について

### (基本構想の継承)

「まちの将来像」「人口目標」「計画の体系」「ゾーニング」の継承（前期計画12p~17p）

One MITOYO~心つながる豊かさ実感都市~

①未来に向かって持続・発展するまち

②安全・安心な暮らしの中、豊かさを実感し、夢や希望をかなえることができるまち

⇒計画の体系：基本目標①~④とそれに付随する政策分野、基本方針①、②

### (前期基本計画からの主な変更点)

#### ■SDGs概念の施策への紐づけ

⇒SDGsの概念は市が目指す持続可能で快適なまちづくりに通じるものであることから、**17のゴールと各施策を紐づけて本計画とSDGsを一体的に推進**

#### ■重点プロジェクトの見直し

⇒**前期基本計画の振り返りや社会情勢の変化に対応しつつ、今後重点的に取り組むテーマを明確化**

⇒重点プロジェクトに関連する取組を「**重点取組**」と位置づけ

#### ■アウトプット指標（活動指標）からアウトカム指標（成果指標）へ

⇒「重点取組」は特に、取組により得られた成果を測るため、「受益者視点」であるアウトカム指標で設定

## 【重点プロジェクト】

次の4つを後期基本計画における「重点プロジェクト」に位置付ける

### ■ みとよでカナエル～育ちと学び～

子どもの健やかな育ちと市民の様々な学びの機会の創出により未来の可能性を担保する

### ■ みとよでハジメル～創造と可能性～

デジタル技術の活用により、様々な分野を超えて生活の質や利便性を向上させる

### ■ みとよでスマイル～持続と豊かさ～

ライフステージを通じて健康に過ごせて、快適で住みやすい持続可能なまちづくりを目指す

### ■ みとよでツナガル～集いとにぎわい～

市内外を問わずもっと三豊を知ってもらって、好きになってもらい、にぎわいの創出に繋げる

## 【重点プロジェクトのスキーム】

■ みとよでカナエル

■ みとよでハジメル

人を育み学べるまちであり、デジタル活用による利便性が高く可能性の広がるまち

人を呼ぶ

人の定着

■ みとよでスマイル

■ みとよでツナガル

健康で住みやすく持続可能なまちであり、人が支え、住みたくなるまち

# 後期基本計画における重点取組と効果の全体像

【重点プロジェクト】

【基本目標における重点的な取組】 30取組

【市民への影響】

【目指すまちの姿】

